



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST 長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／布施慶典 幹事／村田秀雄 クラブ会報委員長／藤澤克彦
SAA／野村泰久 副SAA／西沢 徹

第1487回例会 2018年（平成30年）8月31日（金）

インスピレーションになろう BE THE INSPIRATION

会長挨拶 布施慶典会長

8月は猛暑により、熱中症による災害と、西日本地区では、台風と豪雨による川の氾濫・土砂崩れ等の災害で、例年とは違う自然の猛威を感じました。

少し前までは、マスコミの関心は、もり・かけ問題で、政治不信から官僚不信に発展して、国家のことより自分の立場の弁明ばかりの政治屋の無責任さが目に付きました。最近では、スポーツ業界に飛び火して、監督・コーチそして上部団体の協会役員と選手の問題となっています。アメリカンフットボールの対戦相手を怪我させることから始まり、女子レスリングコーチの選手に対するパワハラやボクシング協会会長の助成金不正流用や、女子体操選手のコーチ問題、パワハラ告発等、選手に対しての嫌がらせや、自分の立場を守っているだけの問題が次から次に発覚しています。昔からの習慣や地位、上下関係のしきたりで、上司は部下に対して精神的、肉体的な苦痛を与えています。社会が多様化しており、ますます対応が難しくなっています。

以前に、北野建設スキー部の萩原監督が、「今の時代は、監督・コーチ・選手は、フラットの関係で、選手が勝つことより、結果に満足しているかを指導している。心・技・体の中では、心が大事で＝自信を持たせること」と言っていたことを新鮮に思い出しました。優位のもの（強い立場）が、相手の言うことをじっくり聞く。相手の気持ちを尊重する事は、何事においても重要だと思

ます。スポーツは、アスリートが自己の限界に挑戦する姿に、感動・感激を受けるものです。当然、勝ち・負けがあるものです。グローバル化は進み、スポーツは勝つために、世の中は得するためだけに集中し過ぎて、日本の良さがなくなりつつあるのではないかと思います。

幹事報告 村田秀雄幹事

* 第2回クラブ協議会報告。

- ・8/20～21長野女子高インターアクトクラブが栄村で研修を行いました。費用は、地区からの補助とクラブとIACとで出し合うところ、個人負担も含めて8万円を補助として送金しました。
- ・これからの例会案内 9/14職場例会 9/21休会 10/5上沢広光ガバナー補佐事前訪問例会。例会会場2階弥生の間。ニコBOXにご協力下さい。クールビズで。例会終了後補佐との協議会開催。該当の方はよろしくお願ひします。
- ・10/14(日)地区大会 於：伊那文化会館
- ・10/19(金)伊藤雅基ガバナー公式訪問例会
- ・10/27(土)森林(もり)例会。地区補助金の申請をしていますのでご家族の皆様も大勢参加いただきたくご予約にお入れください。

9/7 本日のプログラム

ゲスト卓話 西村岳生さん
「子・育つサッカー」

出席・ニコBOX報告 瀧澤 聡例会運営副委員長

8/31 (会員48名) 出席33名前々回修正出席率82.61%

- ・高橋英司さん☆8月25日に次男の敬が結婚致しました。おめでとうございます!
- ・大橋東二郎さん☆昨年雨にたたられた八尾風の盆に明日出かけます。リベンジなるか? また雨が心配です。

・合計 6,500円 ・累計 142,362円

講師紹介 青木 宏プログラム委員長

本日の講師は、水野美術館で学芸員をされている高田紫帆さんです。ホクトの水野君と親交があり日本画の話をして欲しいとお願いしたところ大変素敵な方をご紹介頂きました。宮城県出身で美大卒業後、長野県信濃美術館の学芸員を経て現職に至っておられます。僕らの子供の時代は、洋画を観る事があっても日本画を観ることがなくあまり知識がないと思います。今は海外でも日本画が大変見直されてきています。そんなところから、日本画の見方について教えて頂ければと思います。

また学芸員さんの仕事はタイトルが素晴らしいと思います。いろんな視点で、皆さんの興味をそそるような、コピーの扱いが上手だと思います。

例会案内

- 9月14日 職場例会
マルコメ美麻高原蔵 見学
ホテル国際 バス10:30出発
昼食場所: 麻の館 11:45~
広さの関係で自家用車使用の方は
付き次第、召し上がって下さい。
- 9月21日 休会
- 9月28日 ゲスト卓話 赤羽 奈美さん
例会場: 2階弥生の間

ゲスト卓話 高田紫帆さん

「日本画の楽しみ方」



*水野美術館について

水野美術館は千曲市出身の実業家・故 水野正幸氏が長年かけて蒐集したコレクションをもとにして平成14年(2002年)7月に開館した日本画専門の美術館です。皆さんご存知のホクトの創業者ですが、そのホクトが一部上場になるタイミングで先代の理事長が長野県内に恩返しをしたいということで開館に至り昨年7月に15周年を迎えました。

*日本画とは何か

画の種類は顔料を溶くものにより変わるといふもので、水彩画は水、洋画は油で溶くといふもので、日本画の場合、膠(にかわ=動物から取れるたんぱく質のようなもの)で溶いた画材で描いた作品のことを言うそうです。そんな基本的な内容からスタートしました。



日本画は屏風や掛軸などに象徴されるように、小さく収納できることが特徴であるということや、日本画専門の水野美術館特有の展示方法でガラス越しでない作品を観ることができることなど、興味深い説明もありました。

*作品の紹介

横山大観や川合玉堂、伊藤深水など。特に大観の「無我」は、三部作だそうで、水野美術館にある作品は落款から見ると、最後に描かれた作品であり一番完成度が高いということもお話いただきました。

もうすぐ芸術の秋。美術館で様々な作品を見ながら、ゆったりと時を過ごすのもいいですね。

会報当番: 藤澤克彦クラブ会報委員長

